



かみのせき 議会だより

2022
1/21

No.157



令和4年新春の夜明け

令和3年12月定例議会

議長新年のあいさつ	2ページ
議案（補正予算・条例の制定 他）	2～3ページ
第2回臨時会・第3回臨時会	3ページ
一般質問（4名が町の取り組みを問う）	4～5ページ
常任委員会行政視察報告・議会改革特別委員会報告	6ページ
議会活動報告	7ページ
研修会・意見書・要望・議員表彰・編集後記	8ページ

謹んで新年のご挨拶と 申し上げます



議長
西 哲夫

あけましておめでとうござ
います。

お健やかに新年をお迎えの
こととお慶び申し上げます。

住民の皆様には町議会の諸
活動に対し、ご理解、ご協力を
賜りありがとうございます。

昨年は「新型コロナウイルス
」感染症拡大により緊急事態
宣言が発令され、行動が制約さ
れるなど、皆様もご不便な日々
をお過ごしされたものと思ひ
ます。コロナウイルスも「オミ
クロン株」へ変異し、国も地方
も対応、対策に苦慮し、3回目
のワクチン接種が始まってい
ます。

町議会も「中学生議会中止」
「議会傍聴」「議会・議員活動」
が制約されるなど、計画通りに
活動が出来ませんでした。議
会は住民の声、要望を町行政に
届け、福祉向上に努める責務が

あります。

議員それぞれが皆様に寄り添
い「議会活動」「議員活動」に精
励していくことを肝に銘じ、不
断に取り組むことが不可欠であ
ることを自覚し今年も活動して
まいる所存です。

本年4月より新庁舎での業務
が始まり利便性、職場環境は格
段によりなり議場での傍聴も快
適になりますのでぜひ傍聴にお
いで下さい。

近隣住民の皆様には庁舎建設
工事中は多大なご迷惑をおかけ
したものとお詫び申し上げます。

今年には町議会議員選挙が行わ
れます。

町の課題は多岐にわたってい
ますが、住みよい町づくりに執
行部、議会が協働しスピード感
を持って取り組むことが、さら
に求められる年になると考えて
います。

結びに本年が穏やかで、皆様
が幸多き日々をお過ごしされま
すよう念願し年頭のご挨拶とい
たします。

議案

12月定例会は、12月1日から
9日までの9日間で開催され、
令和3年度一般会計補正予算、
特別会計補正予算2件、条例の
制定6件、過疎地域持続的発展
計画の策定、監査委員の選任が
上程され、原案のとおり可決・
承認された。

一般会計補正予算

◆令和3年度一般会計補正予算
(第5号)

歳入歳出予算の総額に932
万4千円を減額し、歳入歳出予
算を42億7930万8千円とす
る。

主な歳入

国庫支出金の、子どものため
の教育・保育給付費国庫負担金
の増額、新型コロナウイルスワ
クチン接種対策および子育て世
帯への臨時特別給付金事業の増
額、社会福祉対策基金繰入金の
増額、定住促進住宅建設事業に
係る過疎対策事業債の減額、町

道改良工事に伴う緊急自然災害
防止対策事業債の減額。

主な歳出

上関福祉会運営費補助金の増
額、園児数の増加に伴う保育所
委託料の増額、子育て世帯への
臨時特別給付金の増額、定住促
進住宅建設事業の減額。

特別会計補正予算

診療所事業特別会計において、
新型コロナウイルスワクチン接
種関係の支援負担金にかかる一
般会計からの繰入金の減額。

条例の改正・制定

◆上関町役場の位置に関する条
例の一部改正

・庁舎建替えに伴い住所を長島
448番地に変更。

◆上関町職員等旅費支給条例の
全部改正

・上関町職員等旅費支給条例
の全部を改正する必要が生じ
たため。

◆過疎地域内等における固定資産税の特例に関する条例の一部改正

- ・新たに過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が施行されたことなどにより、改正する必要があるため。

◆上関町高齢者保健福祉施設設置及び管理に関する条例の制定

- ・今までの条例（平成11年条例第5号）を廃止し、新たに条例を制定するため。

◆上関町国民健康保険条例の一部改正

- ・健康保険法施行令の一部改正により、出産育児一時金の額が見直されたことに伴い、改正する必要があるため。

◆上関町定住促進住宅設置及び管理条例の一部改正

- ・新たに単身者用住宅を建築するため。

その他

◆上関町過疎地域持続的発展計画の策定

- ・過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が施行されたことにより、上関町過疎地域持続的発展計画を策定する必要があるため。

◆上関町監査委員（識見を有する者）の選任

- ・監査委員（識見を有する者）である松嶋恵治氏の任期が、令和4年2月28日で満了となるため、引き続き「松嶋恵治氏」を選任した。



松嶋 恵治 氏

第2回臨時会

10月19日に第2回臨時会が召集。令和3年度一般会計補正予算、動産の取得1件が上程され、原案のとおり可決された。

◆令和3年度一般会計補正予算

（第4号）

- ・歳入では、国庫支出金の地方創生臨時交付金の増額、歳

出では、地方創生臨時交付金による新型コロナウイルス地域支援事業の増額

◆動産の取得

- ・取得物件

令和3年度高速フルカラー印刷機（封入・封緘タイプ）購入事業

- ・契約金額

745万9千円

- ・契約の相手方

株式会社 弘法

代表取締役 弘法 篤志

第3回臨時会

11月24日に第3回臨時会が召集。条例の一部改正1件、工事請負契約の変更1件が上程され、原案のとおり可決された。

◆上関町一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正

- ・山口県の給与改正に伴い、これに準じて上関町特別職・議員・一般職の職員の給与（期末手当）を減額するため。

◆工事請負契約の変更

- ・工事名

令和元・2年度上関町新庁舎建設工事

- ・契約金額

変更前

9億3229万5千円

変更後

9億4374万2千8百円

- ・契約の相手方

令和元・2年度上関町新庁舎建設工事

井森工業・河本土木建設

特定建設工事共同企業体

代表構成員

井森工業(株)

取締役社長 吉崎 雅弘

構成員

(株)河本土木建設

代表取締役 河本 将志



完成した庁舎

町政のことが聞きたい

一般質問



山村 泰志 議員

問 歴史資源の整備と歴史探究について

答 歴史資源を生かした観光に取り組み

質問

城山歴史公園から旧砲台場跡、六人塚を結ぶルートにある太閤腰掛け岩、稲荷社、毛利水軍の連絡道など多くの歴史資源が眠っており、昔ながらの歴史的景観をプラスすることにより魅力も倍増し、観光客の誘致に結びつくと思う。このルートはウォーキングコースにも活用できる。また、未整備の歴史資源は

後世に伝承するために歴史探究の継続が必要と思う。町の対応は。

町長答弁

本町は、「花咲く海の町・上関」をキャッチフレーズに、観光産業を新たな基幹産業とするまちづくりを推進し、各種施策に取り組み、上関海峡温泉、道の駅や城山歴史公園など観光拠点として整備してきた。城山歴史公園から六人塚などを結ぶルートには、歴史資源が多数存在しているのは承知しているが、このルートには私有地、保安林などが点在していて整備するのは困難、しかし効果的な案があれば、取り組む。



旧砲台場跡

問 コロナワクチン接種3回目の取り組みは



海下 竜一郎 議員

答 順次進めて行く

質問

4月22日よりコロナワクチン接種が始まり、接種率も11月21日の時点で1回目の接種率が87.42%、2回目の接種率が86.44%となっている。現在、国と各自治体とで3回目のワクチン接種が進められている。国は、原則として2回目接種から8ヶ月後を目安とする。早い方は1月には、接種後8ヶ月経過された方も出てくるが、町の取り組みは。また今後、接触証明書がデジタル化される中で、情報があれば伺う。

岡崎高齢者保健福祉センター所長答弁

12月広報に記載しているが、対象となる方には接種券を順次郵送する。早い方は12月20日までに接種券が届く準備をしている。接種の開始は1月29日の予定で予約はコロナ対策室に電話するか、スマホまたはネットで予約が出来る。予約の開始は12月21日から接種会場は、海の町診療所、総合文化センター、高齢者保健福祉センターを予定。接種証明書については、現在は紙での発行だが、新型コロナウイルス接種証明書アプリを利用し申請すれば12月20日からスマホでの表示が可能になる。



ワクチン接種風景



山戸 孝 議員

問 新型コロナワクチン 追加接種の方針は

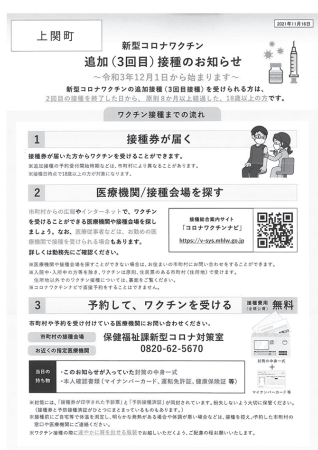
答 交互接種は問題ない

質問

①これまでの接種と追加接種のワクチンの種類が違っても問題はないか。②接種するワクチンの種類の選択は可能か。③モデルナ社製ワクチンは10～20代男性では心筋炎・心膜炎の副反応が出る割合が高いというデータがある。この年齢層への接種はファイザー社製にしては。また行政側からも情報発信するべきでは。④離島の高齢者など本土側での接種が難しい方への方針は。⑤抗体量の検査は町の診療所で可能か。

岡崎高齢者保健福祉センター所長答弁

①ファイザー社製とモデルナ社製の交互接種は問題ないとされている。②接種会場ごとに使用するワクチンは決まっているので、希望する種類を使用する会場を選択する方法がある。③確かにそういったエビデンスがある。相談があればファイザー社製を使用する会場を案内する。接種券に厚労省が出しているチラシなどの添付も考える。④基本的には本土での接種だが、委託医療機関とも相談しながら島内での接種に対応できるか考えていきたい。⑤町の診療所で実施する予定はない。



追加接種のお知らせ



岩木 和美 議員

問 ジビエの活用による 特産品開発について

答 一町では解決できない

質問

光・熊毛地区栽培漁業センターでは、2001年からクルマエビの養殖が始まり、ふるさと納税の返礼品としても毎年、多くの方から好評を得て上関町を代表する特産品となっている。観光振興を図り、町の魅力を発信するために特産品開発は必要不可欠だと思う。本町ではイノシシ被害が拡大し問題となっている。ジビエの活用で特産品開発を図り、イノシシ対策も兼ねた効率的な事業展開を図れば新たな産業として雇用にもつながる可能性もあるのではないか。

町長答弁

観光振興を図る上で特産品の開発は欠かせない。ジビエの活用については多くの課題がある。と畜場以外での解体処理は法により禁止されている。また、食用として加工するには公衆衛生面から必要な規制が講じられている。イノシシは野生鳥獣なので食肉として解体処理するには食肉処理業の営業許可が必要である。この問題は一町で解決できるものではなく、柳井広域圏内でも議題に上がっている。連携して取り組みたい。



他町のジビエハンバーゲ

常任委員会行政視察報告



総務文教常任委員会
委員長 右田 千賀子

ペーパーレス議会、休日議会

の先進地の高知県津野町で研修。ペーパーレス議会を行うにあたり、タブレット端末の導入の経緯では、行政改革が進む中で、住民サービスの向上や事務

の効率化を図ることは必要であり、開かれた議会づくりに向けた取り組みとして、従前より本会議のインターネット中継等を活用した議会運営の議論をする中で、議会資料の印刷、資源の無駄などを考えれば、改善策の一つとしてペーパーレス化が考えられます。

このことにより、タブレット導入に係る視察や勉強会を行い、タブレット導入を決定。現在タブレットを利用し、議会、広

報紙の作成、地域住民への説明などの議員活動を実施しています。次に休日議会については、住民の議会参加を促すため、議長の提案により、一般質問に限り休日議会を開催したが、限られた住民しか議会傍聴しなかったことや町職員の休日出勤・手当などの問題もあり、継続していく事が困難であると考えられ、休日議会は、廃止されました。研修を終えて参考になったのは、ペーパーレス議会の開催に向け

十分協議する必要があります。また、休日議会については、さまざまな問題もあり、今後の課題として考慮していく必要があります。この研修で得た知見を今後の議会運営に生かしていきたいと思っています。



研修風景（津野町）

議会改革特別委員会報告



議会改革特別委員会
委員長 海下 竜一郎

当委員会は、議員のなり手不足を解消する対策を講じるため

に設置し、夜間休日議会をはじめ、議員報酬、ペーパーレス議会の項目を調査検討しました。周防大島町議会、高知県津野町へ

の行政視察、また町内商工会役員との意見交換など行いその検討結果を報告します。休日夜間議会については、先進地視察した中で2回開催したが傍聴者・質問者数に変化はなく、職員は時間外手当で対応し経費がかかります。また職員の居ない庁舎内に一般の人が入るのでセキュリティの面での問題があるなど、効果に対して疑問があると判断しました。議員報酬については商工会役員との意見交換

の中で議員の活動が見えないので、適正な金額がわからないとの意見がありました。増額することにより、なり手不足解消の効果はあるが議員および議会活動の内容を住民に報告し理解が必要です。ペーパーレス化については、便利・必要と思うが、費用がかかるところもあるので、今後執行部と協議をしていきたいと考えております。今回の報告は、まだ協議の途中経過なので、改選後にまた特別委員会を

立ち上げ調査検討を進めていければと思います。



商工会役員との意見交換会

議会活動報告（令和3年9月9日～11月24日）

月 日	内容（場所・出席者・参加者）
9月9日	第3回定例会本会議（全議員）
9月10日	全員協議会（全議員）
9月14日	産業厚生常任委員会（清水・山谷・井原・海下・山根・西）
〃	総務文教常任委員会（右田・山戸・岩木・西・山村）
9月16日	第3回定例会本会議（全議員）
9月21日	第3回定例会本会議（全議員）
〃	議会運営委員会（海下・山根・井原・右田・山谷・西）
9月27日	例月出納検査（井原）
9月29日	第2回熊毛南高校存続協議会（西、岩木）
10月1日	議会広報委員会（岩木・海下・井原・右田・山戸）
10月6日	議会広報委員会（岩木・海下・井原・右田・山戸）
10月12日	議会広報委員会（岩木・海下・井原・右田・山戸）
10月15日	議会広報委員会（岩木・海下・井原・右田・山戸）
10月18日	議会広報委員会（岩木・海下）
10月19日	第2回町議会臨時会（全議員）
〃	県町議会実務研修会 （山口市：西・岩木・井原・海下・清水・右田・山谷・山戸・山根）

月 日	内容（場所・出席者・参加者）
10月26日	例月出納検査（井原）
10月29日	熊毛郡町議会議員合同研修大会（上関町：全議員）
〃	新庁舎建設現場視察（西・岩木・井原・海下・清水・右田・山谷・山戸・山根）
11月2日	県町議会議長会定例会（山口市：西）
11月9日	上関町人権学習講座（西・岩木・海下・右田・山戸）
11月11日 11月12日	常任委員会行政視察研修 （高知県津野町：西・岩木・井原・海下・右田・山谷・山戸・山根）
11月18日 ～ 11月20日	青森県行政視察研修 （青森県六ヶ所村・むつ市：西・岩木・井原・海下・右田・山谷・山戸・山根）
11月24日	第3回町議会臨時会（西・岩木・井原・海下・右田・山谷・山戸・山根・山村）
〃	議会運営委員会（海下・山根・井原・右田・山谷・西）
〃	議会改革特別委員会（海下・岩木・井原・右田・山戸）

山口県町議会実務研修会

10月19日山口市セントコア山口で「地方創生成功のカギは議会が持っている」の演題で早稲田大学マニフェスト研究所事務局長 中村健氏を講師に招き、議会活動、議会の役割などについて研修をしました。



研修風景（山口市）

郡町議会議員合同研修会

10月29日上関町総合文化センターで、「山口県の土砂災害対策」について、山口県土木建築部砂防課職員より、山口県の土砂災害対策の基本方針などの講演を中心研修をしました。

意見書

離島振興法の改正・延長を求める意見書の提出について、全国離島振興市町村議会議長会会長 木口利光氏の依頼に賛同し、町議会名で地方自治法99条の規定により提出した。

意見書提出先

衆議院議長	細田 博之
参議院議長	山東 昭子
内閣総理大臣	岸田 文雄
国土交通大臣	斉藤 鉄夫
内閣官房長官	松野 博一

要望

- 令和4年度 商工助成
上関町商工会
会長 濱田 憲昭
- 令和4年度 商工会助成
山口県商工会連合会
会長 藤村 利夫

令和4年度 観光協会助成

上関町観光協会

会長 濱田 憲昭

令和3年度市町村議会議員 総務大臣感謝状

議会議員として在職年数35年以上勤続

山谷 良数 議員



表彰を受ける 山谷 良数 議員

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年末には新型コロナウイルス感染症も下火になり、お正月にはご家族の帰省により楽しいひとときを過ごされたことと思います。しかし今年に入り再び流行のきざしを見せ始めており今後の成り行きが気になりますが、3回目の予防接種が始まり終息に向かうことを祈っております。

さて私達議員の任期も後僅かとなりました。この4年間大変お世話になりました。次の広報からは新たな顔ぶれで、広報広聴活動を行うこととなります。よろしくお願いいたします。

聴取委員会	委員長 岩木 和美
広報委員会	委員長 海下竜一郎
広聴特別調査会	委員 井原 久治
	委員 右田千賀子
	委員 山戸 孝

次回定例会の初日は
3月7日(月)の予定です。

発行責任者／議会議長 西 哲夫

〒742-1402 山口県熊毛郡上関町大字長島 503

TEL 0820-62-0364 FAX 0820-62-0783

編集／議会広報広聴調査特別委員会

印刷所／中村印刷株式会社